

第7期計画事業一覧（平成30年度）

資料8

基本方針1. 地域包括ケア推進を担う協議体の充実

施策目標1：地域包括ケアシステムの理解促進

項 目	H30年度の個別事業
本人、家族に対する理解促進	○市の広報・ホームページ等での周知・啓発 在宅医療普及啓発講演会、認知症理解促進講演会 ○在宅生活維持についての相談対応 壮年期からの生活習慣病予防対策（各種健診・歯周病検診・健康に関する講座・相談等）
地域への理解促進	○出前講座・ハートフルケアセミナーの開催 ○通いの場や生活支援サービスなどに関する講演会等の開催 井戸端会議や地区協議体での地域課題解決に関する勉強会の実施

施策目標2：地域ケア会議および関係者間協議の推進

項 目	H30年度の個別事業
地域ケア会議の仕組みづくり	○地区介護予防・生活支援協議会（第2層） 在宅ケア推進地域連絡協議会、
地域課題の抽出や取り組みを協議する場の開催	○日常生活圏域等の小地域にて個別ケア会議の展開 ○地区介護予防・生活支援協議会（第2層） 半田市介護予防・生活支援協議会（第1層） ○第3層協議体の設置の検討
多職種連携への取組	○在宅ケア推進地域連絡協議会、在宅医療調整会議 ○半田市地域包括ケアシステム協議会医療介護連携部会
施策推進のための協議の場の開催	○在宅ケア推進地域連絡協議会 ○地域包括ケアシステム推進協議会

施策目標3：地域マネジメントの確立

項 目	H30年度の個別事業
日常生活圏域ごとの地域課題整理	○ふくし井戸端会議、地区介護予防・生活支援協議会（第2層）
生活支援コーディネーターによる横断的マネジメント	○日常生活圏域ごとに生活支援コーディネーターによる地域マネジメントの実施
地域包括支援センターの機能強化	・マネジメント機能の適正化、地域ごとの相談体制を強化 ・事業評価方法や実施時期などについて検討 ○包括支援センター運営協議会

基本方針２．「いきがい」と「ささえあい」の仕組みづくり

【施策目標１】 高齢者の生きがいと社会参加の支援

項 目	H３０年度の個別事業
生きがいづくり、社会参加を促進	・老人クラブ活動助成事業 ・老人福祉センター利用促進事業 ・地域ふれあい施設事業 ・長寿訪問事業 ・高齢者能力活用推進事業（半田市シルバー人材センター補助） ・介護予防普及啓発事業 100歳めざす講座（運動編・回想法編・栄養編） 医師等による介護予防講座 出前講座（高齢期の健康づくり・介護予防に関する知識の普及及び情報提供）
「出かけたくなる」環境づくり	○外出支援サービス事業 ・コミュニティバスの活用や移送サービス（訪問型サービスDの創設）の検討

【施策目標２】 地域で支える介護予防と生活支援

項 目	H３０年度の個別事業
生活支援コーディネーターと地域の協働	○コーディネーター連絡会議の開催 介護予防・生活支援協議会（第２層）
ボランティアなどへ参加しやすい仕組みづくり	○はんだまちづくりひろばや、ボランティア地域ささえあいセンターとの協働によるボランティア養成講座 ○ボランティアポイント制度の検討
介護予防・日常生活支援総合事業の充実	○地域介護予防活動支援事業（げんきスポット事業） ○介護予防・日常生活支援総合事業「通所型サービス」と「訪問型サービス」の拡充

【施策目標３】 住民主体の活動の促進

項 目	H３０年度の個別事業
身近な居場所での介護予防の促進	○げんきスポットの拡充
生活支援や見守りの担い手の育成	○生活支援従事者研修、地域介護予防活動ボランティア研修 地域リハビリテーション活動支援事業（３０年度） ○「家庭訪問員」「傾聴ボランティア」を養成 生活支援従事者研修、地域介護予防活動ボランティア研修

基本方針３．総合的な認知症対策の推進

【施策目標１】認知症の理解を深める普及・啓発

項 目	H３０年度の個別事業
認知症理解の普及・啓発	○認知症サポーター養成講座、認知症キッズサポーター養成講座 認知症理解促進講演会
認知症予防事業の実施	○認知症予防教室（コグニサイズ、通所Ｃ認知症特化型） ○はつらつ頭の体操教室学習サポーター（通称はなまる先生）養成講座、ボランティア養成・育成による住民主体の認知症予防活動を継続支援

【施策目標２】認知症の本人と家族を支える活動

項 目	H３０年度の個別事業
本人、家族が安心して過ごせる居場所と相談体制の充実	○半田市認知症カフェ補助事業 ○若年性認知症を含む当事者のニーズを把握
家族支援の強化	○半田市家族支援プログラムの開催 ○認知症介護家族交流会の開催 ○男性介護者の集い
認知症安心ガイドブックの活用	○認知症安心ガイドブックの活用を推進
初期支援の充実	○初期集中支援チーム ○地域包括支援センターの総合相談
馴染みの関係を継続するための支援	○認知症地域支援推進員

【施策目標３】地域での見守りと行方不明への対応

項 目	H３０年度の個別事業
認知症サポーターの地域活動の推進	○キャラバンメイト連絡会 認知症サポーターフォローアップ講座
行方不明高齢者への早期対応	○行方不明高齢者等搜索機器の貸し出し ○高齢者見守りメール配信事業 行方不明・見守りSOSネットワーク事業 認知症高齢者行方不明搜索模擬訓練

基本方針4. 住まいと暮らしを支える

【施策目標1】安心して暮らし続けるための支援

項 目	H30年度の個別事業
低廉な住まいの確保策などの検討	○高齢者の住まいに関する検討会議 居住支援検討会議設置の検討
利用者負担などの軽減	○介護福祉助成事業 ○社会福祉法人等利用者負担軽減事業 ○介護福祉施設入所負担限度額認定
高齢者福祉サービスの継続	○介護用品支給事業 ○寝具乾燥クリーニングサービス事業 ○在宅寝たきり高齢者理髪サービス事業 ○高齢者等訪問収集事業
安心して暮らし、 住まうための支援	○市営住宅居住者緊急時安否確認制度 ○家具の転倒防止器具取付け事業 ○感電ブレーカー設置費助成 ○シルバーハウジング生活援助員派遣事業

【施策目標2】住み慣れた自宅での暮らしを継続するために

項 目	H30年度の個別事業
ICTシステムの活用	○半田市在宅医療連携システム（だし丸くんネット）
在宅医療サポートセンター事業	○相談、研修、啓発事業 ○最期まで暮らすための選択肢について普及啓発
好事例の蓄積	○在宅ケア推進地域連絡協議会 在宅医療調整会議
終末期への対応	○在宅ケア推進地域連絡協議会 在宅医療調整会議

【施策目標3】いつまでも自分らしく暮らすための支援

項 目	H30年度の個別事業
尊厳の保持と権利擁護	○成年後見利用促進事業 ○日常生活自立支援事業の活用
地域での見守り体制の構築	○在宅高齢者実態把握調査 ○地域見守り協定 ○緊急通報体制等整備事業 ○高齢者配食サービス事業 ○避難行動要支援制度
アドバンスケアプランニングの普及	○アドバンスケアプランニングに関する講座（勉強会、講演会、研修会等）、もしバナゲームの実施 ○「私の事前指示書」の配布、

基本方針5. その人に合った介護保険サービスの提供

【施策目標1】地域密着型サービスの充実

項 目	H30年度の個別事業
地域密着型サービスの質の向上	・地域密着型サービス事業所への実地指導 ・地域密着型サービス事業所意見交換会の開催

【施策目標2】介護保険サービスに関する諸施策の推進

項 目	H30年度の個別事業
事業種別担当国会議の開催	○事業種別担当国会議
各種協議会や会議などでの情報交換	○在宅ケア推進地域連絡協議会などでの情報交換 ○地域密着型サービス事業所運営推進会議
案内チラシ、ホームページなどを活用した情報の提供	○「わたしたちの介護保険」等パンフレット類の配布、はんだ市報への掲載、市ホームページの内容充実や出前説明会の開催 ○愛知県の介護サービス情報の公開制度の活用。
介護離職防止への取組	○パンフレット「介護のために退職を考えている方へー仕事と介護の両立ー」の作成と配布 ○介護休業制度や両立支援策の普及啓発
特別養護老人ホームへの特例入所	○原則要介護3以上に限定 ○特例入所要件審査会議（愛知県特別養護老人ホーム標準入所指針）
【新規】共生型サービスの創設	○障がい福祉サービス事業者への相談対応
【新規】居宅介護支援事業所への関わり強化	○2018年4月以降市町村に移行 ○同事業所の運営基準を市町村条例で定める。

【施策目標3】よりニーズに合った介護保険サービスの提供

項 目	H30年度の個別事業
要介護認定の適正化	○認定調査員や認定審査会委員の研修会
ケアプランチェック	○ケアプランの点検

住宅改修実態調査	○住宅改修工事の現地調査
医療情報との突合・縦覧点検	○医療給付情報と介護給付情報との突合や縦覧点検帳票の確認による点検、事業者への指導
介護給付費通知	○年1回（12月1日付け）利用者へ通知

【施策目標4】在宅医療ニーズを満たす介護サービス事業量の確保

項 目	H30年度の個別事業
【新規】 地域医療構想との連動した 介護サービス量や内容の検討	○知多半島地域医療計画実施主体である愛知県や医師会との協議にて愛知県知多半島地域医療計画（構想）との整合性を保つ ○医療・介護資源の実態把握、必要数の事業量、人材確保